『もっと！！本野通信』　№147

諫早市立本野小学校長　永　井　洋

創立 150 周年記念式典

15 日（日）、諫早市長様をはじめ、多くの来賓の皆さまをお招きし、標記式典が開催されました。今年度に限り、菊のお披露目と学習発表も合わせたものとなり、盛りだくさんの内容になりました。また、多くの保護者、地域の皆さまに来校いただいたにもかかわらず、座席が間に合わないこともあり大変申し訳ありませんでした。

さて、本野小学校は、その歴史をさかのぼると、明治の初めに創立された、「大渡野小学校」「中本明尋常小学校」「湯野尾小学校」の３つの小学校を起源にもちます。この ３ つの小学校が合併を繰り返し、大正 ３ 年、「本野尋常小学校」となります。ここで初めて「本野」という名前が出てくるのです。そして、昭和２２年「本野小学校」となり、昭和３２年の諫早大水害により、校舎が流失し、現在の場所に新しく学校ができることになります。

その間、約１５０年あまり…。多くの卒業生を輩出してきました。この社会への功績は、保護者・地域の皆様・学校の歴史でもあります。本野節の一節にあるように、「５町が和になり」未来永劫受け継がれていくものだと思います。児童数減少に歯止めはかかりませんが、小規模校だからこそ味わえるよさや、魅力をこれからも発信し、教職員一丸となり教育支援に邁進します。どうぞ今後とも、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。

１ 年以上前から、実行委員としてご協力いただいた、保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。

花壇の整備ありがとうございます

今年度も、４ 月から定期的に学校園の ２ つを民生委員の浦山さんと婦人会の皆さんに整備していただいています。毎回季節の花や、なかなか野山では見られないような植物が植えられることもあります。今回は、150 周年記念式典に合わせた工夫もありました。いつもありがとうございます。





～記念式典スナップ～















